

スクリプトを削除する方法

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[削除スクリプト](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、スクリプトを削除するための Script Editor ユーティリティの使用方法を示します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Intelligent Contact Management (ICM)
- Admin Workstation (AW) アプリケーション

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- ICM ソフトウェア リリース 4.6.2 およびそれ以降

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

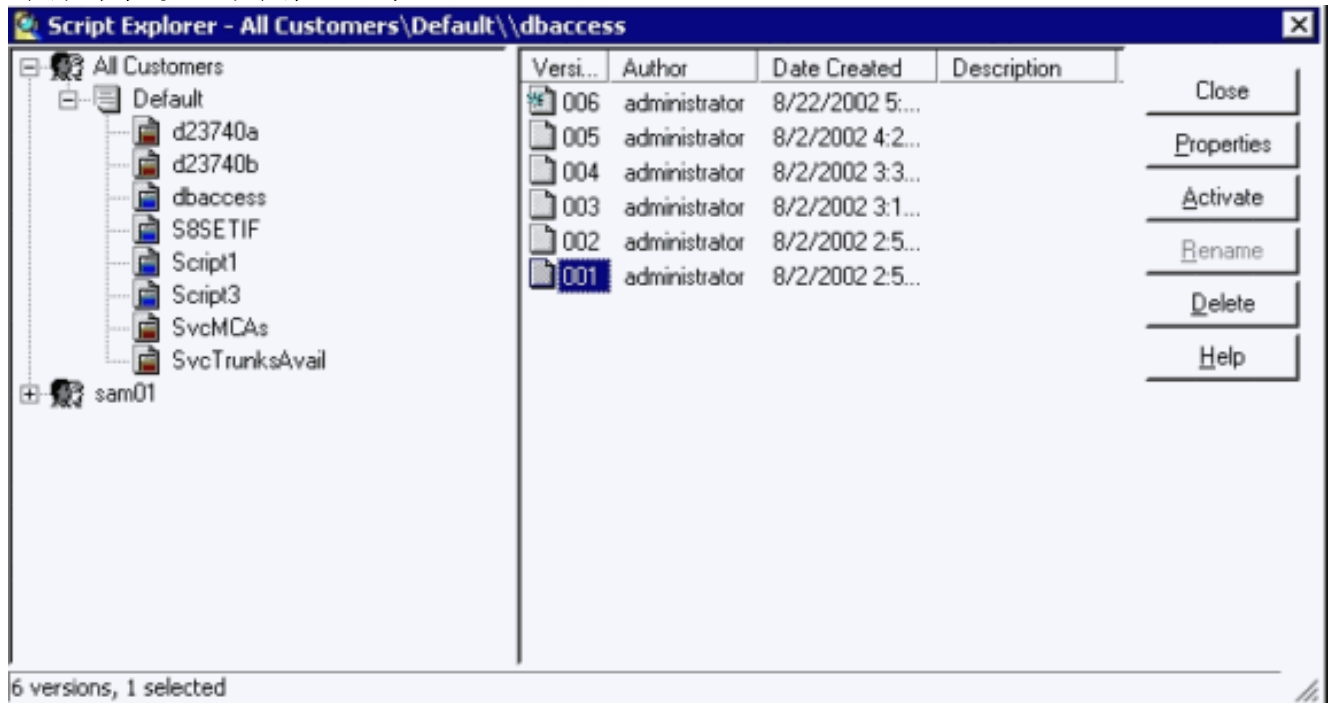
表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

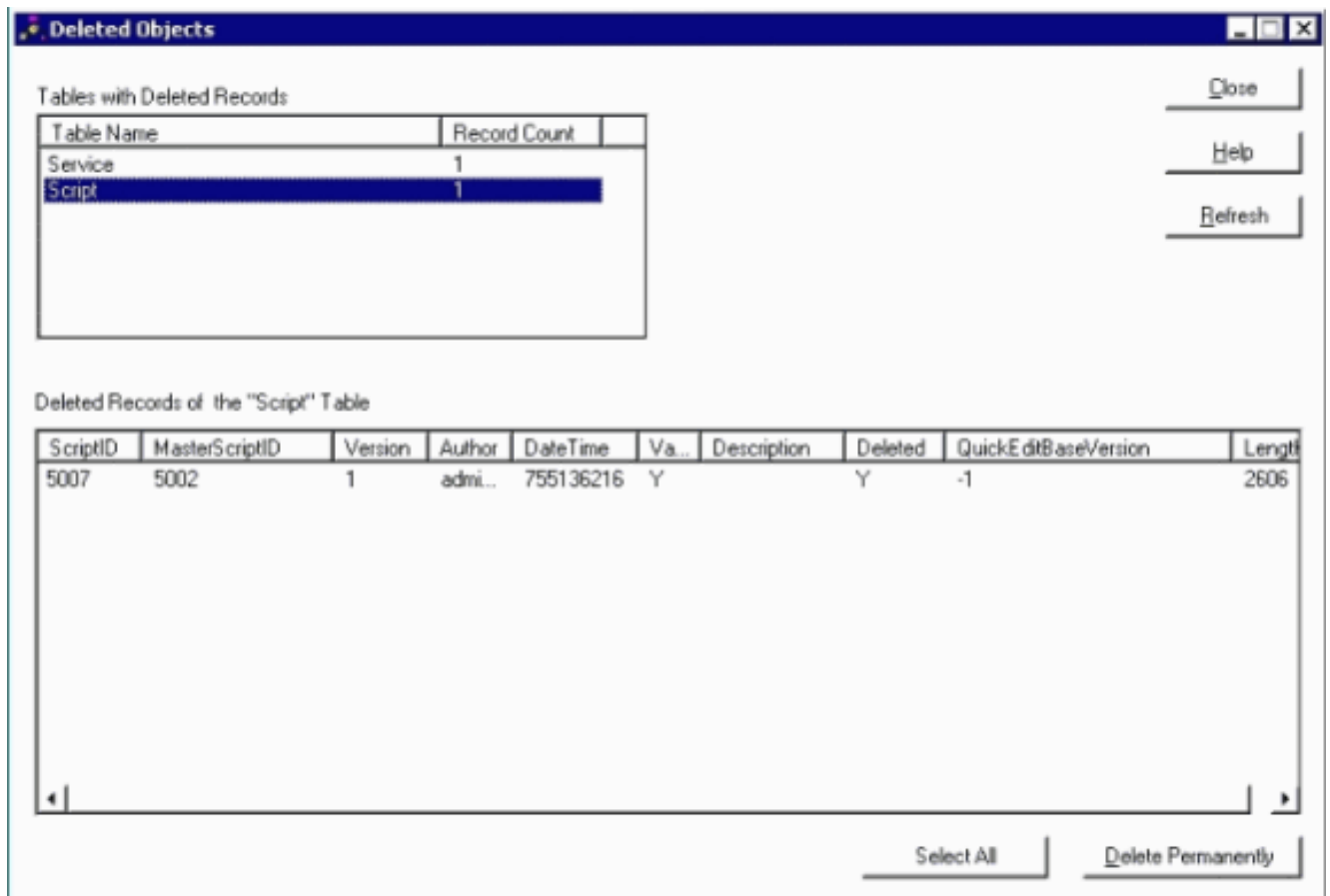
[スクリプトを削除して下さい](#)

次の手順を実行します。

1. AW、ICM AW グループからの開いたスクリプト エディタ。
2. メニューバーで File > Script Explorer の順に選択 するか、または主要なツールバーで『Script Explorer』 をクリックして下さい。Script Explorer ダイアログボックスは開きます。スクリプトは顧客および企業体によって、ように [図 1](#) 示しますリストされています。 **図 1 -スクリプト エクスプローラー**



3. スクリプトおよび適切なバージョンを選択して下さい。
4. [Delete] をクリックします。
5. 望ましいバージョンを削除した後『Close』 をクリックして下さい。注: これらの操作は永久にスクリプトを削除しません。完全なステップ 6 ~ 11 永久にスクリプトを削除するため。
6. ICM AW からのコンフィギュレーションマネージャを開き、ドロップダウン メニューから『Configure ICM』 を選択して下さい。注: ICM ソフトウェア リリース 4.5 およびそれ以降のための ICM/ICR AW グループから『Configure ICM/ICR』 を選択して下さい。
7. >削除済みオブジェクト『管理』 を選択して下さい。ウィンドウは [図 2](#) 現われます。 **図 2 -削除済みオブジェクト**



- 削除されたレコード領域の表で『Script』を選択して下さい。
- 「スクリプト」テーブル面積の削除されたレコードのスクリプトの名前を選択して下さい。
- 『Delete Permanently』をクリックして下さい。
- プログラムを終了して下さい。

関連情報

- [スクリプト管理](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)